

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成24年4月12日 (2012.4.12)

【公開番号】特開2009-276671(P2009-276671A)

【公開日】平成21年11月26日 (2009.11.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-047

【出願番号】特願2008-129578(P2008-129578)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

H 0 5 B 33/08 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

G 0 9 G 3/34 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 G 3/30 K

G 0 9 G 3/30 J

G 0 9 G 3/20 6 7 0 J

G 0 9 G 3/20 6 4 1 P

H 0 5 B 33/08

H 0 5 B 33/14 A

G 0 9 G 3/34 J

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月29日 (2012.2.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

発光素子と、入力信号に応じて前記発光素子の表示輝度を変える制御部と、前記発光素子の劣化量を検出する劣化検出部と、前記検出された前記劣化量に応じて前記入力信号を補正する補正部と、を有する発光装置であって、

前記補正部は、前記発光素子の前記劣化量と前記発光素子の前記表示輝度に応じて、前記入力信号を補正し、

前記補正部は、同じ劣化量でかつ異なる表示輝度で表示する場合に、前記発光素子に流される初期の電流値に対する補正後の前記発光素子に流される電流値の増加率あるいは前記発光素子に印加される初期の電圧値に対する補正後の前記発光素子に印加される電圧値の増加率が異なるように前記入力信号を補正することを特徴とする発光装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

本発明は、発光素子と、入力信号に応じて発光素子の表示輝度を変える制御部と、発光素子の劣化量を検出する劣化検出部と、検出された劣化量に応じて入力信号を補正する補正部と、を有する発光装置であって、補正部は、発光素子の劣化量と発光素子の表示輝度に応じて、前記入力信号を補正し、前記補正部は、同じ劣化量でかつ異なる表示輝度で表

示する場合に、前記発光素子に流される初期の電流値に対する補正後の前記発光素子に流される電流値の増加率あるいは前記発光素子に印加される初期の電圧値に対する補正後の前記発光素子に印加される電圧値の増加率が異なるように前記入力信号を補正することを特徴とする。